

29.8.25

別紙 6 (要請・陳情活動費)

## 要請・陳情活動報告書

平成29年8月25日

木津川市議会議長 高味 孝之 様

会 派 名 日本共産党木津川市議団

会派代表者 酒井 弘一

議 員 名 酒井弘一、宮嶋良造

活動期日	平成29年8月21日(月)～平成29年8月21日(月)
活動先	1 参議院議員会館 会議室 8月21日(月) 10時0分～16時30分  2 要請省庁名 ① 防衛省 ② 文部科学省 ③ 総務省 ④ 国土交通省
参加者氏名	酒井弘一、宮嶋良造
活動内容等	別 紙 写真添付

京都府木津川市の共産党議員団が政府各省庁に要請した内容で各担当者からレクチャーを受けました。

#### 【防衛省関連】

##### 1. 航空自衛隊奈良基地祭の展示飛行を中止してください。

この間の国家的プロジェクトである学研都市開発に伴い、奈良基地周辺に急速に住宅地が広がっています。展示飛行の航空機は、それまでの経路としては木津川上空などを飛行しているものの、基地周辺では住宅密集地を高度を下げた飛行することになります。このエリアは、大阪空港離陸などの旅客機ルートでもありますが、旅客機の高度は高く低騒音なのに対し、戦闘機の騒音と高度の低さは、平穏な市民生活に支障をきたしています。また、万が一自衛隊機にトラブルが発生した場合の緊急着陸に適した場所も近隣にはありません。

#### 【文部科学省関連】

##### 1. 学校の空調設備整備への財政支援を充実させてください

昨今の異常気象・温暖化、授業時間の確保、子どもたちの健全な発達保障などの観点から、小中学校への空調設備の必要性が高まっています。しかし、その初期投資や維持管理にはそれなりの経費が発生します。自治体への財政支援を充実させてください。

##### 3. 小中学校への洋式トイレ導入への財政支援をおねがいします。

住環境・生活習慣の変化により、一般家庭や公共公益施設ではトイレの洋式化が急速に進んでいます。その結果、和式トイレを使えない子どもたちも急増しています。また、学校の多くは災害時の避難所にも指定されており、高齢者・障害者を含む多様な住民が利用できる環境整備が求められています。

##### 4. 木津川市加茂町大野の残念石を国の文化財に指定し保存をしてください。

残念石は、江戸時代初期に大阪城を再建するために切り出され、使用されないうまま残された巨石です。現在、木津川市加茂町の赤田川河原には15の石が引き上げられ、小中学生や歴史愛好家の歴史学習に役立っています。また、川中には数十の石が残されています。

数年後に行われる予定の府道天理木津加茂線のバイパス建設に関し、国と京都府の協議が続けられているが、そのバイパス建設で残念石とともに石の積み出し港跡が地中に埋没することがないようにしなければなりません。

木津川市は保存の意思を持っており、市民もまた近くの大野山に残る石切り場跡も含めて文化財指定、保存を願っています。

文部科学省においては、文化財指定と保存のための補助を、国土交通省においては、淀川維持管理計画に沿った保存のための協力をお願いします。

#### 5. 山城学校給食センターへの財政支援をお願いします。

木津川市では人口の増加が続いており、子ども人口はなお数年間増加が続くと予想されています。教育委員会は予想される食数の不足に対処するため、合併推進債を利用して7000食規模の新給食センター建設を決定しました。そのため、現在の木津と山城の両学校給食センターは廃止されることとなります。

しかし、山城地域に学校給食センターがなくなると、今後予想される種々の危機管理の場面で深刻な事態が予想されます。山城学校給食センターは施設として保存しておく必要があります。合併推進債利用の条件を機械的に当てるのではなく、特別の配慮をお願いします。

あわせて、今後少子化が進む中において、大きな施設でなく小規模な学校給食センターや自校方式の施設においても衛生管理基準をクリアするため、交付金の額や率を引き上げるようお願いします。

#### 【総務省関連】

#### 1. 山城学校給食センターへの財政支援をお願いします。

木津川市では人口の増加が続いており、子ども人口はなお数年間増加が続くと予想されています。教育委員会は予想される食数の不足に対処するため、合併推進債を利用して7000食規模の新給食センター建設を決定しました。そのため、現在の木津と山城の両学校給食センターは廃止されることとなります。

しかし、山城地域に学校給食センターがなくなると、今後予想される種々の危機管理の場面で深刻な事態が予想されます。山城学校給食センターは施設として保存しておく必要があります。合併推進債利用の条件を機械的に当てるのではなく、特別の配慮をお願いします。

あわせて、今後少子化が進む中において、大きな施設でなく小規模な学校給食センターや自校方式の施設においても衛生管理基準をクリアするため、交付金の額や率を引き上げるようお願いします。

## 【国土交通省関連】

### 1. 木津川市加茂町大野の残念石を国の文化財に指定し保存をしてください。

残念石は、江戸時代初期に大阪城を再建するために切り出され、使用されな  
いまま残された巨石です。現在、木津川市加茂町の赤田川河原には15の石が  
引き上げられ、小中学生や歴史愛好家の歴史学習に役立っています。また、川  
中には数十の石が残されています。

数年後に行われる予定の府道天理木津加茂線のバイパス建設に関し、国と京  
都府の協議が続けられているが、そのバイパス建設で残念石とともに石の積み  
出し港跡が地中に埋没することがないようにしなければなりません。

木津川市は保存の意思を持っており、市民もまた近くの大野山に残る石切り  
場跡も含めて文化財指定、保存を願っています。

文部科学省においては、文化財指定と保存のための補助を、国土交通省にお  
いては、淀川維持管理計画に沿った保存のための協力をお願いします。

### 2. 木津川市山城町椿井地区の木津川右岸堤防護岸工事の完了と今後の対策を 示してください。

同地区の堤防護岸（流失した土地復旧）のための第1期工事が昨年行われた。  
今秋、出水期後には第2期工事も予定されています。現在、その第2期工事の  
了解と協力を得るため地権者への働きかけが進行中でありま。

第2期工事を行うと同時に、木津川の流路を左岸側へ振る必要があります。  
自然の力を利用した流路変更のため、今後どのような取り組みを行われるのか、  
国の見解をお尋ねします。

### 6. UR（都市再生機構）の撤退に伴い木津川市に支援（UR所有土地の市へ の寄付など）してください。

木津川市内では、合併前の旧木津町時代から約40数年にわたり、URによ  
る開発が行われてきました。2018年（平成30年）には完全撤退が決まっ  
ています。

未開発の残地が残されていますが、その一部の土地は、昨年URから木津川  
市へ半ば強制的に売却されました。そのことで市民から市やURに対する反発  
も出ています。

今回のようなURの姿勢を国はどう考えていますか。国土交通省としてUR  
への指導をお願いします。また今後この種の混乱を生じさせないために、残地  
を市へ寄附するなどの方針を確立してください。

